

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第4658561号
(P4658561)

(45) 発行日 平成23年3月23日(2011.3.23)

(24) 登録日 平成23年1月7日(2011.1.7)

(51) Int. Cl. F I
 E O 1 C 1/00 (2006.01) E O 1 C 1/00 Z
 E O 1 C 11/24 (2006.01) E O 1 C 11/24

請求項の数 3 (全 8 頁)

(21) 出願番号	特願2004-295448 (P2004-295448)	(73) 特許権者	500544082 龜山 修一 北海道札幌市中央区大通東2丁目6番地 シティタワー札幌大通3201号
(22) 出願日	平成16年10月7日(2004.10.7)	(73) 特許権者	599137817 佐藤 ▼壽▲芳 東京都世田谷区成城2-24-7
(65) 公開番号	特開2006-104853 (P2006-104853A)	(73) 特許権者	599120060 福原 敏彦 愛知県一宮市猿海道一丁目9番3号 第3 コーポモリタ401号
(43) 公開日	平成18年4月20日(2006.4.20)	(74) 代理人	100097353 弁理士 渡邊 功二
審査請求日	平成19年10月4日(2007.10.4)		

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 道路の横断路面構造

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

車両の通行する一車線単位である単位道路の内側に対して外側が高くなるように10°程度に傾斜した傾斜面になっているカーブ箇所における横断路面構造であって、該カーブ箇所の横断面を、カーブ内側の傾斜をカーブ外側の傾斜より十分に大きくなるようにして、該カーブ箇所を走行する車両のカーブ内側の車輪に加わる内側向きの負荷が外側の車輪に加わる内側向きの負荷より大きくなるように前記傾斜面から該単位道路の横方向中央を頂部とする単一の山形に膨らんだ凸曲線形状とし、運転者がハンドル操作をしなくても、自動的に車両がカーブ曲率に合わせた方向に曲ることができるようにしたことを特徴とする道路の横断路面構造。

【請求項2】

前記カーブ箇所の前後に繋がる直線部分の該カーブ箇所に至る所定範囲にて、平坦面から該カーブ箇所の山形に円滑に繋がるように徐々に膨出した経過路面を設けたことを特徴とする前記請求項1に記載の道路の横断路面構造。

【請求項3】

前記道路の舗装が、排水性の舗装であることを特徴とする前記請求項1又は2に記載の道路の横断路面構造。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】